

決算審査特別委員会

Check! 決算審査特別委員長の視点!

【決算審査特別委員長のコメント】

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大と縮小に、全市民及び企業が翻弄される年でありました。

令和3年度決算審査特別委員会は、10月5日、6日の2日間にわたり集中的に審査が行われ、非常に活発に質疑・要望等が出されました。

また、討論では(仮称)郷土史博物館基本構想に絡み、反対討論が出されました。その後、採決により賛成多数で可決され、企業会計決算(水道・下水道・病院)は全会一致で可決されました。



▲齋藤 和文 決算審査特別委員長

Check! **討論** 討論とは、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対か自己の意見を表明することです。

反対討論 若林志津子 議員

日本共産党議員団の反対理由はただ一つ、(仮称)郷土史博物館検討事業の進め方に問題があるからです。令和2年度の予算審査特別委員会では、3項目の附帯決議をつけ賛成しましたが、その決議に沿った取組がなされていないと判断し反対します。コロナ禍で物価高騰により生活が大変な中、市民生活優先の取組をすべきです。

賛成討論 仲亀恭平 議員

総括としては歳入歳出差引残額は39億2400万円であり、健全化判断比率をはじめとする各種財政指標も安定した財政状況を示していることを大いに評価致します。市民の皆様が希望と誇りをもって生活できる富士宮市を実現できるよう、さらなる市政発展のために市政運営に専心し力強く前進して頂きますよう期待します。

反対討論 近藤千鶴 議員

新型コロナワクチン接種事業では、遺伝子組み換えワクチンを5～11歳の子どもや生後6か月の赤ちゃんまで接種するのは、将来どのような影響があるか危惧します。(仮称)郷土史博物館検討事業では、市民の理解や周知が得られず市史編さん事業等と連携し時間をかけて検討すべきで時期尚早。よって2つの事業に反対します。

賛成討論 佐野和彦 議員

コロナ禍2年目、世間では社会経済活動も慎重に行っている中、富士宮市の行財政運営は難しいかじ取りとなりましたが、最終的に黒字決算という形になったのは評価します。ただし、(仮称)郷土史博物館基本構想は附帯決議が反映されたとは思えず、今後の進め方について、より慎重に行うことを要望しました。

反対討論 深澤竜介 議員

(仮称)郷土史博物館基本構想策定支援業務について、「幅広く市民に周知し、意見を聴き、各会派から出された指摘や提案を十分に尊重する」「検討委員会等における協議内容をその都度市民及び議会に知らせる」との附帯決議が尊重されませんでした。権力者は謙虚であるべきで、予算の執行者は、真摯に予算執行すべきです。

賛成討論 植松健一 議員

一般会計で567億円、コロナ関連を除いても500億円弱となる財政規模となりました。その内容は実質単年度収支額16億3千万の黒字となり、経常収支比率も86.2%と良好です。また、その財源は自主財源(主に市税)の2.2%の増加であり健全な状況です。市立病院の会計も黒字となり、大きな改善が見られました。